

新設橋梁 床版上面表面保護および壁高覧打継ぎ部処理

国道の橋梁上部工新設工事において、床版コンクリートの耐久性向上を目的とした表面保護工および床版と壁高欄の打継ぎ部処理材としてCS-21が技術提案され採用された。CS-21施工後にシート防水工・舗装工が実施され供用が開始された。約2年経過時点でプリスタリング発生などの不具合も無く経過は良好である。



施工箇所全景



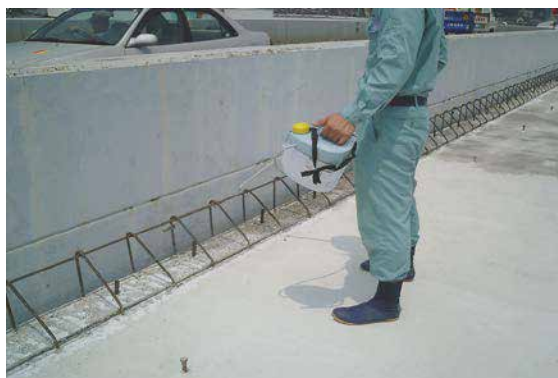
CS-21 塗布状況



CS-21 塗布状況



湿潤散水状況



打継ぎ部CS-21 散布状況